

日本ロールシャッハ学会第12回大会御案内

日本ロールシャッハ学会第12回大会事務局

(FAX 025-266-9533 E-mail ror2008@n-seiryu.ac.jp)

I. 会場 新潟青陵大学 〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地

II. 日程 期日：2008年10月25日(土)～26日(日)

III. 大会スケジュール(予定)

第一日目(10月25日)

受付	ミニ・ワークショップ	昼食等	一般発表1	特別講演	総会
9.30～	10.00～12.30	12.30～13.30	13.30～15.00	15.15～16.45	17.00～18.00

総会終了後、懇親会を開催いたします。

第二日目(10月26日)

受付	一般発表2	昼食	シンポジウム
9.30～	10.00～12.30	12.30～13.30	13.30～16.00

IV. ミニ・ワークショップ

A. ロールシャッハ法の習熟のために

- 事例検討 臨床ロールシャッハ法解釈の実際 講師 上芝功博先生(法務省矯正研修所)
- 事例検討 ロールシャッハ法の力動的解釈 講師 中村留貴子先生(東京国際大学)

B. 心理査定実務全体の視点から、ロールシャッハ法が学べることを考える

- 講義 「臨床心理査定アトラス」の実務場面での利用 講師 佐藤忠司先生(新潟青陵大学)
- 講義 「MMPI」を臨床実務でいかに使うか 講師 塩谷亨先生(金沢工業大学)

V. 研究発表(事例研究・一般研究)

発表時間は30分(一般研究)と90分(事例研究)の2種類とします。

VI. 特別講演 演題：絶妙ロールシャッハ

講演者 牟田隆郎先生(聖学院大学) 司会 運上司子先生(新潟青陵大学)

VII. シンポジウム テーマ：ロールシャッハ法を中心に、テスト・バッテリーを考える

司会：森田美弥子先生(名古屋大学)

シンポジスト：小川俊樹先生(筑波大学) 村部妙美先生(慶応大学)

中村協子先生(新潟市民病院)

指定討論者：馬場禮子先生(山梨英和大学)

VIII. 大会参加諸費用(円) * 含、ミニ・ワークショップ参加費

	本学会会員	学生・院生	臨時会員	当日参加
大会参加	7000	5000	9000	+1000
懇親会	4500	4000	4500	+500

IX. 今後の連絡(予定)

- 発表申し込み期限(一般発表、事例提供) 2008年6月15日
- 発表申し込み者への抄録作成要領の送付(第2号通信) 2008年6月下旬
- 抄録原稿の提出期限 2008年7月31日
- 諸費用払い込み期限 2008年8月20日